日本共産党久喜市議団　No.132

市議団ニュース

連絡先
杉野 修　58−9010　渡辺昌代　21−9058
石田利春　52−7260　平間益美　23−9519
【議員団控室（市役所4F）の住所・久喜市下早見85−3】

2017年7月9日号

「**日本共産党久喜市議団ブログ**」更新中です

市は、東京理科大跡地の開発企業と誓約書を交わせ

（所久喜705−3）

東京理科大跡地は、4割（校舎側）が久喜市に譲渡され、残りの6割は理科大から民間企業に売却されました。現在イーシャンレッドウッド社が250億円を投じ、物流倉庫建設の工事を着工しています。物流倉庫は延べ床面積15万平方メートル。埼玉県内最大級のマルチ型物流施設となり環境が一変します。

環境破壊は許さない

開発企業と調整はどのように進めているのか。テナント・物流量、近隣の交通問題、地元からの要望書の検討など市の対応を質問しました。

市は、「物流企業とは事前報告を受けているが、テナントが未定のため、物流量は明示できない。地元からの県道12号線の歩道整備信号機設置、右折信号、カーブミラー等の要望については、杉戸県土事務所や埼玉県警と十分協議していく。搬入路の整備や速度抑制など近隣への影響に十分配慮した対策を事業者と協議する」としています。

誓約書を交わすべき

今年2月には、三芳町で通販大手アスクルの物流倉庫火災が起こり、鎮火に296時間もかかった。窓からの放水ができない、防火シャッターが作動しないなど消防法違反容疑も指摘される大惨事となりました。

物流倉庫の実態調査を行っているのか。開発企業と安全対策、交通公害、営業時間、浸水対策、災害時対応、企業撤退時の対応等

物流倉庫の基礎工事が始まった理科大跡地の様子

約束事は詳細部にいたるまで話し合い、誓約をすべき」と問題提起をしました。

地元の声を受け止め全力

今後、物流企業との協議調整が重要です。市は「協定等行う」としていますが、市民が暮らす環境が壊されないよう、防災の面も含めてしっかりと行う必要があります。日本共産党は今後も市民要望を受け止め、実現のために全力を尽くします。

江面第二小学校で学校統廃合の検討について地元説明会が開かれる

久喜市では、少子化が進む中「久喜市立小・中学校の適正規模・適正配置に関する基本方針」を策定しました。

5月には、「市立小・中学校学区等審議会」が開かれ、教育委員会は、学校統廃合の適否等について諮問をしました。そこには、江面第二・小林・上内小学校・菖蒲南中学校が統廃合の検討対象とされています。

6月17日（土）には江面第二小学校で、江面第二小学校の適正規模配置について、地域の意見を聞き、学区等審議会に反映させるため久喜市では初めてとなる地元説明会が開かれました。

説明会で教育部長は「江二小は210名いた児童が現在61名となっている。平成35年には40名となり複式学級が見込まれ、学級と運営に影響を及ぼす」との説明です。

市からは、市民に行った意識調査の概略、適正規模・適正配置の説明、江二小の現状、今後の統廃合の進め方等の説明がありました。

地元の方から
さまざまな意見が続出

参加された皆さんからは

◆子ども達の心のケアについて触れていない。考えは。

◆若者の定住対策や雇用策など少子化対策をやっていない。学校がなくなればこの地域の発展はなくなる。

◆審議会のあとに学校説明会では手順がおかしい。

◆都市計画マスタープランを取り組んだのか。

◆丁寧に意見を聞いてほしい。説明会をやったではなく納得いくまで話し合いを。

◆人口を増やす施策を考えるべき。プロジェクトチームをつくり提案したい。

◆地域の中にこの学校がある。学校を移せば地域はつぶれる。

◆行き届いた教育ができる。小さいなりの良さを出すべき。

◆複式学級を「脅し」にしてほしくない。地元の方からは地域がなくなると言われ、両者の意見で、PTAは板挟みになってしまう。など出されました。

市民が納得するまで
話し合い　無理には進めない

最後に市は、この統廃合は市が勝手に決めるものではなく皆さんが決めるものであるのでたくさんの意見を出して欲しいと結びました。

言葉どおり、今後住民本位の進め方をしっかり実施して欲しいと考えます。

江面第２小学校

市民の想いを市に届けました

杉野おさむ

久喜市桜田
3丁目
7－1－504

介護保険制度での後退に歯止めを

２０１５年の改正で介護サービスの利用料が所得によって２割負担となり、今後は３割負担も政府が打ち出しました。これは、たいへんな負担増が心配されます。

問　久喜市での影響はそれぞれどれほどになるのか。

答　２割負担になった方は１か月当たり７４３７円増で５９６人いる。また、３割負担になる方は、１か月当たり４３０７円の増で２８７人の見込み。

問　６５歳を超える障がい者は、自動的に介護保険制度に移行するということだが、そのことで必要なサービスが受けられなくなることが懸念される。本人の事情などを考慮して、障害福祉サービスも受けられるようにすべきではないか。

答　それぞれの方の障害の特性に応じて適切なサービスを選んでいただく。

センター方式では今よりも地産地消を推進できるか

自校調理方式では、各地域の農産物などをまかない材料に取り入れるなど、「小回りの利いた」地産地消を進めるという利点があります。

問　現在進めている特別栽培農産物は、何件の農家で生産しているのか。

答　南彩農協を通じて生産している農家は１２軒。

問　特別栽培の農産物は、広げていく計画か。

答　特別栽培ではなく、久喜産の野菜を増やしていくことになる。

問　強化磁器食器は評判も良いが、なぜ止めるのか。やめずにむしろ広げていくべきではないか。

答　審議会で決めたこと。

石田としはる

（栗橋東５丁目7－21）

済生会栗橋病院加須市へ移転　済生会埼玉県理事会は「一年以上かけて詳細調査し中央本部が決定」　久喜市の姿勢を問う

答　済生会は２つの病院を建設することから、事業計画は困難が予想され不可能な場合もあり、現在地での再整備を求める。

問　存続のために信頼関係を築くことが重要。市長の決意を問う。

答　平成元年開院以来、財政支援を継続して来たが何の話もなく、一部機能移転の覚書を加須市と締結した。地元説明会で、病院長は「計画は白紙状態」との説明をしたが、済生会支部理事会では加須市に 200 床規模の急性期病院を建設する基本方針案が承認された。大変遺憾に思う。今後計画立案に当たり協議があると思われるので本市の考えをこれまで同様伝えていきたい。

存続に向けこの時期は重要「基金の創設」を

問　市はこれまで「現地に残るのであれば支援する。金額は言えないが病院が継続できる支援は実施する」として来た。具体的な姿勢を示すとき。病棟建設に向けた「基金の創設」は欠かせないと考えるがいかがか。

答　今後済生会の事業計画を練る中で本市に対し話はあると思う。その中で支援は考えていきたい。

夏に向かい草が生い茂る中　草刈の専用窓口設置を

問　道路や公園、放置された空き地など草刈りが求められる場所が多い。道路レスキューのように草刈り専用窓口を設けては。

答　土地所有者が除草できない場合は、市がかわりに除草を業者へ委託する除草代行事業も行っている。業者委託により適正な除草管理をしており専門窓口を設置する考えはない。

草刈りに対する　市民からの要望件数

担当課	市民部	環境経済部		建設部	
場所	空き家	空き地	遊休農地	道路･水路	公園
平成 26 年度	49	119	65	300	50
平成 27 年度	50	92	93	300	50
平成 28 年度	36	92	74	300	50

平間ますみ

（本町８－４－１）

小学校、中学校の校舎雨漏り、建物欠損状況の改善を

地元小学校で、校舎での雨漏りがあった。そこで伺う

【問】現在教育委員会が把握している校舎雨漏りの件数を伺う。

【答】小学校は久喜地区５件、菖蒲地区３件、栗橋地区２件、鷲宮地区４件で、合計14件。中学校は久喜地区２件、菖蒲地区１件、栗橋地区１件、鷲宮地区３件で、合計７件

【問】原因は把握しているのか。

【答】屋上やベランダの防水機能の低下や壁面の亀裂が主な原因であると考えている。

【問】雨漏り以外に外装のタイルの剥がれ等は。

【答】小学校が23件、中学校が16件で、合計で39件。

【要望】緊急性を要するとか要しないとかの問題ではない。学校修繕費の予算を増やしふやした上で、至急対応をしていただきたい。

久喜地区のデマンド交通　実証実験の目的は

【問】今回の提案は、タクシー料金の半額、上限1,500円を補助するという内容で、現在のデマンド交通の内容とは全く違うものになっている。何を目的で提案されたのか。

【答】現在のデマンド交通は目的地まで時間がかかる、予約が取りづらいなどの意見がある。近年高齢者のみの世帯や高齢者のひとり暮らしなどがふえており、久喜地区でも通院や買い物などの移動手段の確保が求められている。タクシー車両を利用した単独乗車方式とし実施する。

空き家対策　各部署が連携して対策を

【問】隣人の樹木が家を覆い迷惑をしているので対応を求めている件数は。

【答】相談件数は、久喜地区75件、菖蒲地区26件、栗橋地区51件、鷲宮地区42件、合計194件

【問】空き家が放置されたままで事件や火事が心配であり、対応してほしいなどの要望は。

【答】相談件数は久喜地区18件、菖蒲地区３件、栗橋地区５件、鷲宮地区２件、合計28件。

【要望】足立区は、各省庁をまたいだ対策会議が持たれている。久喜市でもそれぞれの部署で連携し問題を共有し対応してほしい。